



子どもたちの頑張りや成長をすぐ近くで見られ、
子どもたちと共有出来ることに、
保育士としての魅力を感じています。

保育士 柳田認定こども園

熊井 愛 (くまい あい)

平成27年度入庁

なぜ、倉敷市職員に？

私は倉敷市内の大学に通うようになり、学生生活を倉敷で過ごし、次第に倉敷で働きたいと思うようになりました。

子どもが好きで子どもと関わる仕事に就きたいと、保育士を目指していたので、実際に倉敷市内の保育園を訪れた際に、先生方が子どもたちと笑顔で関わっている姿や、お話をされている姿を見て、その姿がとても印象的で、更に倉敷で働きたいと思う気持ちが大きくなったのを覚えています。

倉敷市は、政策である「子育てするなら倉敷でといわれるまち」の実現に向けて、子育て支援に力を入れており、大切な子どもを預かる保育士に対して、変化する保育ニーズに応えるため、研修などが充実していることにも魅力を感じました。

現在担当している仕事内容は？



私は4歳児の担任をしています。私の勤めている園は昨年認定こども園になり、一日園で過ごす子どもたちと半日で降園する子どもたちが一緒に生活しています。保育室や園庭、遊びの環境を整えると、「おはよう！」と元気よく登園してくる子どもたちを受け入れることから一日が始まります。子どもたちが興味や関心を持ちながら、生き生きと活動できるように、環境を整え、個々に応じた援助をしています。その中で子どもたち一人ひとりを見守り、子どもたちに寄り添い、温かく関わりながら、体の成長だけでなく、心の育ちを支えていくのも保育士の大切な仕事です。その他にも、行事や遊びの計画・準備、日々の保育についての話し合い、保護者の方へのお便りやお知らせの作成なども行っています。降園時には保護者の方と直接お話をしたり、お知らせボードで一日の活動や子どもたちの様子を伝えたりして、子どもたちの成長について一緒に考えていけるようにしています。

今までで特に印象に残っているのは、発表会です。劇遊びやリズム、歌や合奏に取り組みました。本番までの期間、どのようにすれば全員が楽しんで発表会に参加できるのか子どもたちとしっかり話をしたり、子どもたちへの関わり・援助は正しいのかを他の先生に相談したりしました。当日は、私の方が緊張していたのですが、3歳の時から見てきた子どもたちが笑顔で楽しんで、歌を歌っている姿に本当に感動しました。子どもたちの大きな成長を感じた瞬間でした。

日々保育をする中で、悩むことや不安になることもありますが、園長先生をはじめ先輩の先生方に相談し、アドバイスをもらったり、一緒に考えていただいたりしながら、たくさんの方に助けられ、毎日保育しています。保育者自身が「たのしい」「おもしろい」と思う気持ち、笑顔や元気を大切にしながら子どもたちと関わっているので、これからもその気持ちを忘れず、子供たちとかわっていきたくと思います。

倉敷市職員になってよかったことは？

「縄跳びがとべるようになった」「こまが回せるようになった」と伝えに来てくれたり、友だちとのトラブルを解決しようとみんなで話す姿を見たりと、子どもたちの頑張りや成長をすぐ近くで見られ、子どもたちと共有出来ることに、保育士としての魅力を感じています。

また、倉敷市では研修などが充実し、自分の知識を増やしたり、高めたりすることができ、保育士の学びの場が多いことも倉敷市の保育士になってよかったと感じるところです。



志望者に向けてメッセージ

保育士は子どもたちと一緒に笑顔いっぱい、元気いっぱい関わりながら、子どもたちの姿から学んだり、子どもたちの成長を感じられたりする、とてもやりがいのある仕事です。保育の勉強や実習は大変だと思いますが、楽しむ気持ちは保育士にとって、とても大切だと思います。友だちと過ごしたり、学外の活動に参加したり、今しかできないことや時間も大切に過ごして楽しんでください。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。